

2025年度 粉体工学イブニングセミナー

「製剤と粒子設計：マクロからマイクロまで」

【講演要旨】

京都大学薬学部の薬品工学研究室（故 岡田壽太郎先生）で気相、液相の反応工学で学び、学位修得した後、岐阜薬科大学製剤学研究室（川嶋嘉明先生）で製剤研究をスタートして40年ほどが経過した。川嶋教授が中心となり設立された本会の製剤と粒子設計部会の設立当初より、運営の一端に関わり様々な情報及び交流をエネルギーとして、「粒子設計」を道標とした粉体工学、製剤研究を進めてきた。当時在籍された半田哲郎先生の薫陶もうけ、アルバータ大学での留学時に本格的にリポソーム研究も開始した。固形製剤設計に加えて、リポソームを中心とする微粒子製剤設計においても粒子設計の観点に力点を置いて研究を進めた。薬学部が6年制となることも機として、より一層、医療現場、患者さん側のニーズも踏まえた製剤研究に重点を置き、「人に優しい製剤」を研究スローガンとした。また、現在の寄付講座では、薬品工学の原点にも繋がる連続生産にも関わる機会を得た。自分自身のこれらの研究へのかかわりを中心に、ここ数十年の医薬品製剤研究の変遷をたどりたい。

日 時： 2025年5月21日（水）17：30～18：30 予定
（春期研究発表会のプログラムと同時に決定）

会 場： フォレスト仙台 (<https://www.forestsendai.jp/>)
〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木1丁目2-45

講 師： 岐阜薬科大学名誉教授 竹内 洋文氏

参加費： 無 料
イブニングセミナーのみのご参加の場合、
メールにて事務局 (office@sptj.jp) 宛てお申込み下さい。

申込締切： 5月14日（火）

お問合せ先：

一般社団法人粉体工学会
〒600-8176 京都市下京区烏丸六条上ル北町181 第5キョートビル7階
TEL. 075-351-2318, FAX. 075-352-8530, E-mail: office@sptj.jp